



第3回 帯広畜産大学 産学官金連携交流会mini

～北海道における自給粗飼料活用 シンポジウム～

対象

生産者、
農業協同組合職員、
行政、農業改良普及員、
農業高校教員、学生、
個人など

参加費

無料

2022年3月7日（月）13:00～15:00

場所：とがち館（1階 玉葉の間）／ Zoom

*現地参加は先着30名限定

北海道を中心とした大規模畜産が展開されている地域では、コントラクターシステムやTMRセンターの普及により規模拡大が進んでいます。一方、草地管理・粗飼料生産を行う上で、収穫適期の牧草収穫、牧草地における雑草の侵入などの課題から、粗飼料の品質低下が問題となっています。さらに、農林水産省の「緑の食料システム戦略」では、国産飼料の割合増加を目指す方針が出されたところです。

こうした現状を受け、北海道内における安定した粗飼料生産の自給に向けて、話題提供し情報交換を実施します。

テーマ1：新規粗飼料としてのソルガムの可能性

講演① 北海道に適したソルガム：「ターザン」の品種特性と栽培・利用方法
(Web講演) カネコ種苗株式会社 鈴木 雅憲 氏

講演② 北海道に適したソルガム：特徴と栽培・利用方法
(Web講演) 雪印種苗株式会社 佐藤 尚親 氏

講演③ 北海道におけるソルガム栽培について
(会場講演) 帯広畜産大学 環境農学研究部門 准教授 秋本 正博

講演④ 北海道における飼料作物としての可能性
(会場講演) 帯広畜産大学 生命・食料科学研究部門 准教授 花田 正明

テーマ2：ICTを活用した粗飼料資源管理

講演⑤ 空撮情報による飼料作物の収量予測
(Web講演) 農研機構 北海道農業研究センター 坂上 清一 氏

総合討論

主催：帯広畜産大学
畜産フィールド科学センター
産学連携センター
北海道畜産草地学会

参加申込み：
申込フォームまたは、
裏面の申込書にて
お申込みください。

*締切：3/1（火）



<https://forms.gle/aHt5Pjf4J272T7WLA>

お問合せ：帯広畜産大学 産学連携センター crcenter@obihiro.ac.jp / 0155-49-5771（高橋）

～北海道における自給粗飼料活用シンポジウム～ 参加申込書

メールまたはFAXにてお申込みください。

送付先：帯広畜産大学 産学連携センター（高橋）

Email：crcenter@obihiro.ac.jp / FAX：0155-49-5775 *締切：3/1（火）

お名前	
ご所属	
電話番号	
住所	
メールアドレス（必須）	
参加方法	<input type="checkbox"/> 現地参加（とち館） <input type="checkbox"/> Web参加（Zoom） ※Web参加方法については別途ご案内いたします。 ※現地参加人数が上限に達した場合は、Web参加をお願いすることがあります。
※個人情報の取扱いについて、次の事項に同意いただける場合□にレ点をご記入ください。 <input type="checkbox"/> 講師に所属機関及び氏名を提供することに同意します。	

まとめて申込む場合にご利用ください。

ご所属	お名前

【個人情報の取扱いについて】（１）帯広畜産大学が保有する個人情報は「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」等の法令を遵守するとともに「国立大学法人帯広畜産大学保有個人情報管理規程」に基づき、保護に万全を期しています。（２）お申込み時にお知らせいただいた氏名、住所等の個人情報については、連絡等のセミナーの運営業務を行うためにのみ利用します。